

議会事業評価 ～市からの回答～

令和
7年度

各常任委員会(総務委員会、文教厚生委員会、建設産業委員会)が選定した3つの事業への評価・提言に対し、市長から以下の回答がありました。

事業評価に関する詳細な内容については、市議会ホームページをご覧ください。



総務委員会	評価の対象	災害対策事業(防災安全課) 【事業の目的】自主防災組織の活性化や家庭の備えを高めていくための支援を行う。
	事業評価	問題あり(拡充する必要あり)
	主な提言	市民の防災意識を高めるため、防災に直接関係のないイベント等に防災体験を取り入れたり、防災資機材を積極的に活用したりすること。また、優良な取組みについては、全市で情報共有すること。
	市からの回答	防災キャンプや総合防災訓練では、幅広い年齢層の方に参加していただけるよう働く車の展示や協定先企業の体験ブースなどの企画を織り交ぜて実施しており、今後も気軽に参加しやすい訓練の実施に努めるとともに、備蓄してきた防災資機材については、一定のルールに基づき運用できるよう準備をしていきます。また、他自治区の好事例や直近の被災地での防災減災の取組みについては、毎年開催している「自主防災会連絡会」で情報の共有を図っていきます。

文教厚生委員会	評価の対象	音楽のあるまちづくり事業(生涯学習課) 【事業の目的】新たな音楽文化の創造や醸成を促し、ひとづくりやまちづくりにつなげていくとともに、心豊かな市民生活と活力ある地域社会の実現に寄与する。
	事業評価	問題あり(合理化の必要あり)
	主な提言	クラシック以外のジャンルを取り入れ、子どもや市民が参加しやすい体験型イベントを拡充するなど、幅広いジャンルを扱う取組みを進めること。
	市からの回答	楽器体験などの体験型イベントを拡充するとともに、市内楽器店や音楽団体と連携し、多様なジャンルを扱う取組みを進め、市内の公共施設や商業施設など身近な場所でのイベントも増やし、市民が気軽に参加できる環境を整えていきます。

建設産業委員会	評価の対象	市営住宅維持管理事業(建築課) 【事業の目的】市営住宅の維持補修を継続して実施することで、入居者に安心安全な住環境を整備する。
	事業評価	概ね適正(現状を維持)
	主な提言	入居率の低い住宅の入居者数を増やすため、募集する住宅の住環境を整えたり、学生入居や事務所としての活用など、目的外使用にもチャレンジしたりすること。また、市営住宅長寿命化計画に基づいた住宅の廃止を進めるため、入居状況に基づく入居者の移転による棟集約を進め計画的な維持管理を行うこと。
	市からの回答	市民ニーズを把握するため、政策的に必要な住戸を除いた全空住戸の中から入居希望者が自由に部屋を選べる募集方法を来年度は12件行うとともに、目的外使用については、できることを精査しニーズがあれば検討していきます。また、老朽化した住宅については、棟集約などにより市営住宅長寿命化計画に基づき廃止できるよう進めています。